

軽井沢土曜懇話会

第5回 9月3日(土) 15:00~

学術無窮

講演者は、6年間勤めた京都大学総長を平成15年12月に退任したが、その間に500編余の文章を書いた。そこから30編を選んで1冊にまとめ、「学術無窮」という表題をつけて出版した(非売品)。そこでは、新入生や卒業生に対する激励などの言葉のほかに、21世紀学術の本質、西洋と日本の学問的考え方の違いと特徴、美・芸術の大切さなどについても論じている。ちょっぴりとした哲学も存在する。さらに国立大学の変革のまっただ中であって、大学改革についての考え方、これからの大学のあり方などについても意見を述べた。

1997年から6年間に論じたこういった課題について、講演者の人生観をまじえて改めて論じてみたい。

講 師 長 尾 真 氏

((独)) 情報通信研究機構理事長、前京都大学総長)

略 歴： 昭和36年 3月 京都大学工学研究科修士修了
昭和36年 4月 京都大学助手
昭和43年11月 京都大学助教授
昭和48年10月 京都大学教授
昭和51年 2月 国立民族学博物館併任教授(平成6年3月まで)
昭和61年 4月 京都大学大型計算機センター長(平成2年3月まで)
平成 7年 4月 京都大学附属図書館長(平成9年3月まで)
平成 9年 4月 京都大学工学研究科長(平成9年12月まで)
平成 9年12月 京都大学総長(平成15年12月まで)
平成13年 4月 国立大学協会会長(平成15年6月まで)
平成16年 4月 情報通信研究機構理事長

著 書： 『「わかる」とは何か』 (岩波新書)
『人工知能と人間』 (岩波新書)
『電子図書館』 (岩波科学ライブラリー)
『岩波情報科学辞典』 (岩波書店)